

# 仙台市 農政だより

## 2024年 秋号



とれたて仙台  
仙台の大地の贈り物

【発行】仙台市経済局農林部(農林企画課、農業振興課、農業土木課)

### 市長が泉区野村地区で農業視察を行いました



集団転作による大豆の生育状況の確認



水稲の生育状況の確認(ひとめぼれ)

9月4日(水)に市内の農作物の生育状況や農業者の取り組みを把握するため、郡市長が農業視察を行いました。

泉区野村地区では、環境保全米の「ひとめぼれ」のほ場を視察し、農事組合法人泉の柴田孝一代表理事、組合員の若生宏明さん、JA仙台の森山副組合長から水稲の生育状況や、栽培の苦勞などについて説明を受けました。

郡市長は、「今年の夏も高温が続き水稲の品質管理に多くの気配りとご苦勞をされていると思っていたが、順調に育っているとのことので安心した。収穫まで何事もなくこのままだと良いと強く願いたい。」と話しました。

その後、農事組合法人泉での集団転作による大豆生育状況を視察したほか、仙台産の大豆を使用した(株)かね久、(株)山形屋商店による農商工連携商品と、丸美屋食品工業(株)とのコラボメニューに関する説明を受けました。

今回新たに開発された「ミヤギシロメ」のレトルトパックは、袋を開けてそのまま食べることができ、簡単で便利に大豆を味わうことができます。

郡市長は、「簡単に調理ができるので、手軽に大豆を楽しんでいただけたらと思う。多くの皆さんに仙台産の大豆を食べていただけたらよい願っている。」と話し、仙台の地産地消の推進に期待を寄せました。



仙台産大豆の農商工連携にかかわる皆さんと



「ミヤギシロメ」のレトルトパック

【農林企画課企画調整係(電話:214-8265)】

## 「仙台の農業を知るツアー 夏野菜」を開催しました

仙台市では、地産地消の取り組みを広げるため、市内の生産者から直接お話を聞く現場見学会を開催しています。

8月17日(土)に開催した「仙台の農業を知るツアー」には、5組の小学生親子が、マイクロバスで青葉区と若林区の生産現場を巡りました。

今回の参加者の中には「将来は農家になりたい」というお子さんもおり、熱心に話を聞いていました。生産現場を実際に見ることで、生産者をより身近に感じてもらい、これからも仙台の農業を応援していただければうれしいです。



「仙台の農業を知るツアー」の様子

【農業振興課農食ビジネス推進室(電話:214-8266)】

## 新技術導入実証普及事業を行っています

仙台市では、東北大学大学院農学研究科・JA仙台と共同で、スマート農業機械やサステナブル農業技術などの活用により、環境に配慮した効率的で収益性の高い農業を推進するため、新技術導入実証普及事業を実施しています。

9月3日、4日には、東京農業大学の後藤名誉教授による講義・現地視察会で緑肥を用いた土づくりの基礎を学んだほか、10月10日には、(農)井土生産組合のほ場で自動走行や収穫量測定機能を備えたコンバインの試乗による現地体験会を行いました。参加者は、自動走行での稲の刈取りを体験したほか、収穫量測定機能による地力マップの作成が今後の土づくりや施肥設計に活かせることを学び、自身の経営での先進技術とデータの活用について検討をしていました。

また、西部地区では、草刈作業軽減を目的とした畦畔へのカバークロープや地力向上のための緑肥の播種作業を行いました。

今後も環境や作物の生育ステージに合ったスマート農業機械の提案と実演、緑肥等の効果の実証を行っていく予定です。



東京農業大学後藤名誉教授による講演の様子



井土生産組合での現地体験会の様子

【農業振興課生産支援係(電話:214-8335)】

## 11月はとれたて仙台 地産地消月間です

1カ月を通して市内各所で様々な地産地消イベントが開催されます。仙台市では11月1日(金)から11月30日(土)まで、勾当台公園内にあるRoute 227s' Cafeで「とれたて仙台フェア」を開催します。仙台産農産物を使った期間限定の特別メニューの提供を行うほか、商品券やお米などが当たる抽選会や直売会を開催します。

また、10月から11月の2カ月間、仙台産農産物を提供する飲食店や直売所を巡る「とれたて仙台スタンプラリー」を開催中です。スマートフォンでスタンプを集めて応募すると、仙台の美味しい賞品が当たります。

イベント詳細は仙台の地産地消に関する情報発信事業「とれたて仙台」ウェブサイトやインスタグラムで情報発信しますので、是非ご覧ください。



とれたて仙台地産地消月間  
ウェブサイト



とれたて仙台スタンプラリー  
特設サイト



【農業振興課農食ビジネス推進室(電話:214-8266)】

## 次世代の女性農業者を対象とした研修会を実施しました

市では、次世代を担う女性農業者の育成を目指して「次世代アグリヒロイン活躍支援事業」を行っており、8月27日に、農家レストラン「畑の中のごはん屋ちょっころ」にて研修会を実施しました。

当日は、東北の天然素材を生かしたアロマ製品を手掛ける(株)グリーンディー代表取締役の浜出理加氏を講師に迎え、経営者としての考え方や女性の生き方について講話をいただきました。午後の部では、農業委員等を経験された佐藤とみ氏、加藤和江氏、高山真里子氏の3名を交えた意見交換を行い、これまでの経験や若手農業者に対するアドバイスをお話しいただきました。

また、昼食兼交流会では、会場の農家レストランにて、新鮮な野菜をたっぷり使用した特別メニューをいただき、和やかな雰囲気の中で交流を深めました。

今後も女性農業者を対象とした研修会や交流会を開催予定ですので、興味のある方は下記までお気軽にお問い合わせください。



研修会の様子



昼食の特別メニュー

【農業振興課担い手支援係(電話:214-7327)】

## 「地域計画」原案の協議及び説明会を行います

地域農業の将来像等について、地域ごとに策定している「仙台市地域農業基盤強化プラン（人・農地プラン）」が農業経営基盤強化促進法の改正により「地域計画」に変わり、計画策定に向けた取組を行っています。これまで地域ごとに話し合いをした内容をとりまとめて、11月下旬から1月上旬にかけて各地域で原案の協議と説明会を行う予定です。

地域ごとの開催日時や場所等については、決まり次第、順次市のホームページでお知らせしますので、ご確認ください。

※「地域計画」：地域農業の将来の在り方を示したものの。

地域農地の概ね10年後の耕作者を示した「目標地図」の策定が必要となっている

【農業振興課担い手支援係(電話:214-7327)】



仙台市  
ホームページ

## せんだい農業園芸センターでリンゴ狩りを開催中です

せんだい農業園芸センターみどりの杜の観光農園では、今年も美味しいリンゴが大きく育ちました。摘み取り体験は12月上旬まで、品種は「こうとく」「ぐんま名月」「宮美ふじ」「パインアップルふじ」「はるか」など、品種ごとに違う美味しさが楽しめます（有料・予約優先）。

また、現地では、リンゴやトマトの栽培方法などを紹介しています。施設見学をご希望の場合は、事前にご連絡のうえお越しくください（案内付は有料）。

詳しくは、下記までお問い合わせください。



せんだい農業園芸センター  
みどりの杜  
ホームページ



【仙台ターミナルビル(株) 荒井事業所(電話:762-9688)】

## 農業サポーター制度をご活用ください

仙台市では、農業への関心が高い市民の方々を対象に「農業サポーター養成講座（せんだい農楽校）」を開校し、繁忙期の農家を手伝う「農業サポーター」を養成しています。座学や実習で農作業の基礎を学んだ農業サポーターは、登録農家の依頼に応じ、年間を通してさまざまな農作業のサポートを実施しています。

農業サポーターの利用登録や費用等については、下記までお問い合わせ下さい。

### 主な 作業内容

- 播種、定植、収穫、出荷調整
  - 田植え補助、稲刈り補助
  - 支柱たて、トンネルかけ
  - 除草、肥料散布
  - 果樹類の摘果
- 等の農作業全般

【仙台ターミナルビル(株) 荒井事業所 電話:(762-9667)】

【発行】仙台市経済局農林部（農林企画課、農業振興課、農業土木課）  
〒980-0803 青葉区国分町3丁目6番1号 表小路仮庁舎（仙台パークビル9階）  
電話 022-214-8265 FAX 022-214-8338（農林企画課）

◆Eメール kei008110@city.sendai.jp（農林企画課）

◆H P <https://www.city.sendai.jp/kurashi/shizen/norinsuisan/index.html>



仙台市農林水産業ページ



とれたて仙台WEBページ